

I 教育理念、教育目的、教育目標

(1) 教育理念

東京都立北多摩看護専門学校は、都内にある保健医療福祉施設や地域において、都民の健康の担い手として活躍できる看護師の輩出を責務とし、人々が健康でその人らしい生活が送れるよう医療の側面から支えることができる看護師を育成する。

社会のニーズに即した看護の役割を果たすために、学生がこれまで培ってきた4つの力、すなわち「感じ取る力」「考え構成する力」「表現（具現化）する力」、「成長する力」をさらに発展させながら、さまざまな対象、健康段階、看護活動の場に応じた基礎的な看護実践能力を養う。

人間の尊厳を守り、権利を擁護し、看護専門職として倫理観に基づいた責任ある行動をとるとともに、生涯にわたり学び続ける姿勢を持ち、保健医療福祉の発展に貢献できる人材を育成する。

(2) 教育目的

看護師として必要な知識及び技術を教授し、社会に貢献しうる有能な人材を育成する。

(3) 教育目標

- ① 対象の価値観や人生観を尊重し、健康でその人らしい生活を支えるための基礎的能力を養う。
- ② 対象の状況を的確に判断し、継続的な視点を持って必要な看護を実践するための基礎的能力を養う。
- ③ 対象の尊厳を守り、権利を擁護し、看護専門職として倫理観に基づいた責任ある行動がとれる基礎的能力を養う。
- ④ 他者を理解する感性を磨き、自己成長しながら人とかかわり合える人間関係能力を養う。
- ⑤ 施設や地域で切れ目のない看護の実現に向けて、保健・医療・福祉におけるチームの一員として、多職種と協働できる基礎的能力を養う。
- ⑥ 社会の変化と医療の動向に関心を持ち、よりよい看護の実践をめざし、自ら学び続ける能力を養う。

II 都立北多摩看護専門学校で発展させたい4つの力とディプロマ・ポリシー、アドミッション・ポリシー

(1) 都立北多摩看護専門学校で発展させたい4つの力

感じ取る力	<p>対象への関心と思いやりを持って接し、看護のフォーカスを当てて、対象の反応を受け止める力。</p> <p>看護が受け止めるべき対象の反応とは、「健康上の心身の状況」「痛みや苦しみ、悲しみ、喜びなどの心の動き」「その人らしい生きよう」などであり、それらに関わりの中で、察し、気づき、自己の看護に取り込む力。育てたい力は、感性、倫理観、人間理解、価値の多様性の理解など。</p>
考え構成する力	<p>受け止めた対象の反応の意味を分析し、看護の必要性や方向性を導き出そうと、思いめぐらし、これまでの経験や知識と照らし合わせつつ判断して、対象に提供できるまでに組み立てる力。</p> <p>考える力には、推察、検索、解釈、分析などが含まれ、それらをまとまりがあるものに組み立てる力が構成力である。育てたい力は、省察力、批判的思考力、問題解決力など。</p>
表現（具現化）する力	<p>対象を尊重し、気遣いながら、考え構成した看護を行為として具現化する力。</p> <p>育てたい力は、人間関係形成力、看護過程展開力、知識・技術に基づいた看護行為の実践力、チーム医療のなかでの多職種との協働力および調整力、指導・教育力など。</p>
成長する力	<p>看護実践のサイクルを繰り返すことで看護のとらえ方が深まり広がっていき、創造的に考えられるようになっていく力。看護実践のサイクルとは、看護行為として表現（具現化）した結果や対象の反応等を感じ取り、さらに考え構成し、対象に合った看護に質を向上させていくことである。</p> <p>育てたい力は、専門職としての責任や自律性の認識、看護師として学び続ける姿勢など。</p>

(2) ディプロマ・ポリシー

都立北多摩看護専門学校で育てたい「感じ取る力」「考え構成する力」「表現（具現化）する力」「成長する力」の4つの力を発展させて看護実践能力を身につけることを重視し、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、専門士の称号を授与する。

<感じ取る力>

- ① 多様な文化・価値観を持ったあるがままの人間を個人として受け止め、尊重できる。
- ② 対象及び対象をとりまく人々との関係の中で、思いや希望、心身の変化に気付くことができる。
- ③ 命を尊び、人の生死に対し真摯に向き合うことができる。
- ④ 対象の尊厳と権利を守るための倫理的な課題に気づくことができる。
- ⑤ 社会の変化や保健医療福祉の動向に関心を持ち、医療や看護へのニーズに気づくことができる。

<考え構成する力>

- ① 対象の反応の意味を多角的に分析・解釈し、看護の必要性を考えられる。
- ② その人らしい生活を支えるために必要な看護援助を、根拠に基づき考え組み立てることができる。
- ③ 実践した看護を振り返り、より良い看護を考えることができる。

<表現（具現化）する力>

- ① 対象を気遣いながら、より良い関係を築いていくことができる。
- ② 対象の思いを受け止め、必要な情報を提供し、自ら意思決定ができるように支援できる。
- ③ 切れ目のない医療の実現に向け、チーム医療の中で看護の視点から情報を発信できる。
- ④ その人らしく生きるために、対象のもてる力を活かしながら、安全で安楽な看護が実践できる。

<成長する力>

- ① より良い看護をしたいという思いを持ち、学び続ける。
- ② 自己の課題に気づき、解決に向けた努力ができる。
- ③ 仲間と共に、学び支え合い、互いに高めていくことができる。
- ④ 様々な状況に柔軟で粘り強く対応できる。
- ⑤ 専門職業人としての誇りと自覚を持つ。

(3) アドミッション・ポリシー

都立北多摩看護専門学校は、4つの力の発展につながる人材を求めることとし、5つのアドミッション・ポリシーを掲げる。

- ① 人を思いやる気持ちを持ち、他者と協調して人間関係を構築できる人
- ② 物事をありのままに受け止めることができ、誠実に対応できる人
- ③ 自分の思いや考えを、自分の言葉で表現することができる人
- ④ 学習習慣を身につけて、意欲的に学び続けられる人
- ⑤ マナーやルールを守り、責任ある行動がとれる人